



# 中高生とともに差別と闘う

## 『人権こども塾』レポート 『楽しいことばかり』

吉成タダシ (うずしおランチ代表)



### 交流フェスタ授業参観

十月二十二日、人権こども塾で四国朝鮮初中級学校交流フェスタに行ってきました。前年に提案いただいた一大イベントの実現です。早朝に貸切バスで出発し、現地に着くまで、授業参観するの連続だったようです。

「学校に着くと最初は授業参観。いつも見られる側だったので、とても新鮮でした。壁に掲示されているものもとても印象的で、皆でどんなものが掲示されているのか必死に翻訳しながら回りました。もっとも印象的だったのは、教科書です。中二の教科書を開けてみると、私たちがちよと習っているところもあり、いつもなら教科書を開けて中を見るのは憂鬱で仕方がないけれど、今回はずと見ていられるくらい印象的でした。チヨゴリも着ました。とてもかわいかったです。」

「クラスの大きさと人数についてビックリしました。人数が三人、少ないところでは一人のところもありました。クラスの後ろにある掲示板には、自己紹介カードがあって思わず微笑んでしまうほどかわいかったです。」

こどもたちにとっては日ごろの自分たちが標準ですから、その違いに大いに驚いたようです。やはり、実際に行くと、見て、感じるこの大きいです。大人も子どもも同じです。実は私も、終始ニコニコ笑顔で授業参観していました。

### 交流から学ぶこと

「私はいろいろな言語を知ろうと思いました。理由は、今回在日の子たちと話していた思ったことで、私がドでかい名札をつけていて、最後に写真撮るとき、隣にわいわいの在日の子が座ってくれて、その時に!! その子が私の名札を指しながら読んでくれて、そのときに思ったことが、自分の国の言語を知って、話してくれるって、すごい素敵なことだなと感じたんです。だから、また会うまでに単語くらいは話せるようになりたいです。今回参加できて良かったです!! す!! す!! 楽しかったです!!」

「レールウェイ」の合同合唱も心が一つになったような感じがして、歌っている間とても気持ちが良かったです。焼肉もとてもおいしかったし、外で販売していた食べ物も何個か買い、本当においしかったです。帰り際に小さい生徒さんたちに会い、着けていた名札を読んでもらってうれしかったし、かわいかったです! 帰りのバスで、今日の交流フェスタを思い返すと、楽しい思い出ばかりだったなと思いい、バスの中でも楽しみながら帰りました。本当に楽しかったです。

「交流フェスタは絶大です!!」

以前、3Fという言葉を聞いたことがありました。「ファッション・フード・フェスティバル」の頭文字の3Fです。その効果に理屈はありません。こどもたちは感

覚で受けとめますから、「理屈抜き」ですね。私たちの堅苦しい話なんか凌駕してしまいます。

### 学ぶことの意欲

「私は今回行って、いろいろな知識を得たり、自分に自信がもてたり、とても良い経験になりました。舞台でも様々な演目があって、どの演目も朝鮮の文化を感じられたりして楽しかったです。だから私はこれからもっとたくさん朝鮮の文化や人権問題に取り組み続けたいと思います。」

「ハングルも日本語も習っているのに、そのうえ英語まで話している、とてもす!! と思います。私は二か国語も話すことができないのに、朝鮮学校は三か国語も話せるようになるために頑張っているのだと知り、私も英語の勉強を頑張ろうと思いました。交流フェスタでは歌舞団の皆さんがいろんな歌を歌ったり、踊ったりして楽しませてくれました。言葉は分からなかったけれど、心を通じられた気がします。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。」

自分たちと同じ世代が、どんな境遇でどんな頑張りをしているのか、分っているようで、実は知りません。でも、知ればそれが、自分の頑張る力へと変えられる。これもまた、理屈ではないようです。理屈に意味がないとは言いませんが、心で呼応することは、生物としての本能のようなものかもしれ

ません。

### 相手への想像力

「お昼になって焼き肉を食べました。他の学校の人たちと食べたので、すごく緊張しました。そのときに歌やダンスを披露してください人がいたので、上手すぎて見とれてしまいました。最後に皆で輪になって踊りました。疲れただけで、友達と仲良くなれたと思ったので良かったです。帰るときは少し悲しく名残り惜しかったです。家でお土産を家族で食べました。家族の笑顔を見て、あの学校の子たちも家でこんなふう今日の出来事を語っているのかなと思えました。その笑顔がなくなるとい世の中になるように、努力していきたいです。」

この想像力。こどもたちはこの日家に帰り、その日の楽しかった思い出を、「聞いて! 聞いて!」とおしゃべりになったと、あとになつてお家の方からうかがいました。よほど楽しかったのでしょう。そしてその楽しさを、相手の立場に置き換えて想像できる豊かさ。しかしそれでも、現前と差別や偏見はある。そのことに思いを馳せて、今回の学びを再確認できていたようです。この想像力の豊かさ。素晴らしさ。そんな学びをいだけた、そんな思いにさせてくれた交流フェスタに、「感謝」です。これが、次への学びへとつながっていくのだと思います。